

【地域との絆を深めるために ～地域商業科課題研究・家庭クラブ・演劇部～】

令和6年1月12日

本校では洲本市をはじめ、淡路島全域で地域とのつながりを深める取組を数多く行っています。令和5年11月に地域商業科が出前授業、12月には家庭クラブが洲本市の養護老人ホームでクリスマス会を行いました。

〈八木馬回集落 獣害についての出前授業〉11月22日(水)南あわじ市立八木小学校6年生

南あわじ市立八木小学校の児童に獣害について知ってもらおうと、八木馬回集落で校外学習を行いました。児童や地域の方と一緒に現地を視察しながら本校生が獣害について解説をしました。その後、獣害対策で出た間伐材を使って木製風鈴づくりを体験しました。児童たちは興味深く話を聞いたり、風鈴作りを楽しんだりしていました。地域について知ることは大事なので児童にとって大変よい勉強になったと思います。また、授業を行った本校生たちは、自分たちで調査し学習した成果を地元の小学生たちに知ってもらおうというとても貴重な活動を行いました。地域にとっても有益で、地域商業科ならではの取組であると思います。どの地域にも解決すべき課題は必ずあります。来年度の3年生も地域とのつながりが深まるような活動にチャレンジしてください。



〈養護老人ホーム クリスマス会〉12月22日(金)養護老人ホーム「由良荘」(洲本市)

このクリスマス会は、利用者の方々との交流を通して思いやりの心を届けるイベントです。心の支えや楽しみを提供することができます。家庭クラブが手作りのお菓子や手芸品をプレゼントしたり、演劇部が「赤ずきん」を上演したりしました。他に洲本高校生も歌を披露していました。終始ほのぼのとした雰囲気、なごやかに交流を楽しんでいました。利用者の方々や高校生にとっては、ちょうどおじいちゃん、おばあちゃんと孫の関係の年齢に近いのでお互いに身近に感じられたのではないのでしょうか。短い時間でしたが、この交流を通じて、世代間のつながりや理解を深めることができましたと思います。高齢者の立場に立って何が喜びなのか、何が慰めになるのかを考える機会にな



ればいいですね。皆さんも高齢者とながりを持つために、笑顔や優しい言葉遣い、興味を持って話を聞くなど、コミュニケーションも大切にしてください。